

## 資格認定委員会より

令和元年度最後の第6回目の委員会（通算第180回）が2月26日に開催されました。委員会の結果を受け、認定心理士の2019年度の初回審査件数は3,526件、総審査件数は3,625件、合格件数は3,458件、資格取得者は3,417名でした。資格制度が始まって今年でちょうど30周年を迎えましたが、累計で63,314名の資格取得者が誕生したことにとっても喜ばしい思いがいたします。と同時に社会的責任の大きさも実感しています。

認定心理士（心理調査）については、昨年度の初回審査件数は63件、総審査件数は84件、合格件数は55件、資格取得者は53名でした。資格制度が始まってから3年間の累計で、資格取得者は156名となりました。この資格に関しては、申請基準の見直しと電子化申請システムの導入などを図ることにより、すでに認定心理士の資格を有している人たちも申請できるように準備を進めています。情報社会における多様化したニーズに対応できる調査手法とデータ分析のスキルを備えた専門家として、社会から認めてもらえる人材を学会が

積極的に認定して支援していくことができると願っております。

名称独占となる公認心理師が続々と誕生していくなかで、昨年度の認定心理士の審査件数の動向が注目されました。一昨年度（2018年度）と比較して、5.6%のマイナスとなり、5年ぶりの減少です。

それほどマイナスとならなかったというのが、正直な個人的感想です。ただ昨年4月1日から、認定心理士の資格審査はすべて新基準で行うことになりましたので、c領域の「心理学実験実習」など以前のカリキュラムで履修してこられた方々が旧基準での審査を希望して、一昨年度末に駆け込みで大勢の申請がありました。そのため、その方々の審査が昨年度の4月以降にずれ込み、結果的に昨年度の取得者としてカウントされたという事情もあります。

その意味では、今年度の審査件数の行方が今後の動向を正確に予測する上でとても重要になってくると考えています。しかしながら、令和2年度の委員会は新型コロナの緊急事態宣言の発令に伴い、まだ一度も開催されておられません。

申請をされておられる方々には、このような事情で審査結果の通知が遅れていることをこの誌面

を借りてお詫び申し上げます。

今後、公認心理師の国家資格と認定心理士の資格をどのように差別化し、これらの資格を持続可能な形で発展させていくのがよいのか議論が始まっております。学会内に資格調整委員会（鈴木伸一委員長）を設置して、公認心理師についての情報を収集し、今後の資格のあり方などについて、2018年に設立された「公認心理師養成大学教員連絡協議会」を後援しながら、公認心理師の養成を行っている大学とも連携している提言を始めました。そこでは、公認心理師資格と認定心理士資格の関係の調整についてもさらに検討が深まると期待しています。

日本心理学会ホームページのお知らせにも掲載していますが、学会では今回の新型コロナウイルス感染拡大に伴うさまざまな対応を行っています。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、収入の減少等の理由によって認定心理士資格申請の認定料の納入が困難になった方に対しては、納入期限延長などの措置を検討いたしております。学会事務局の認定心理士認定料担当までご相談ください。

（資格担当常務理事・久留米大学教授 津田 彰）

## 編集後記

パンデミックの影響を受け、2020年3月の編集委員会には半数ほどの委員がオンラインで参加しました。その後、感染が拡大するなか玉稿が次々と到着し、本号は順調に完成に至りました。「ソーシャル・ディスタンス」を物理的に取りつつも、人とオンラインの恩恵に与り、本質的な社会的距離が適度に保たれたことに感謝しています。本号の特集では、差別を助長する感染回避のメカニズムを割愛しましたが、今後はこれにも注目が集まることでしょう。（大江朋子）

## 編集委員（五十音順）

編集委員長  
副委員長  
委員

青山謙二郎	同志社大学
後藤和宏	相模女子大学
荒川 歩	武蔵野美術大学
大江朋子	帝京大学
小野田慶一	追手門学院大学
金井嘉宏	東北学院大学
北崎充晃	豊橋技術科学大学
清水由紀	早稲田大学
松田壮一郎	筑波大学
明和政子	京都大学
村山 綾	近畿大学
山崎真理子	鹿児島大学
山本哲也	徳島大学
原田悦子	筑波大学

担当常務理事

心理学ワールド [90号] 2020年7月15日発行

年4回発行（1月、4月、7月、10月）

発行人—坂上 貴之

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—新日本印刷

制作—(株)新曜社